

京都大学大学院文学研究科修士課程

京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻の開設について

京都大学大学院文学研究科では、平成 29（2017）年 6 月 27 日付で文部科学省より設置認可を受け、ドイツのハイデルベルク大学トランスカルチュラル・スタディーズ・センター（Heidelberg Centre for Transcultural Studies, HCTS）と共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラム「京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻」を平成 29 年 10 月に開設します。

ジョイント・ディグリーは、文部科学省が新たに設置を可能としたもので、連携する大学間で開設された単一の教育プログラムを学生が修了した際、連携する大学が共同で単一の学位を授与します。本専攻は、本学初であるのみならず、人文社会系において日本初となるジョイント・ディグリーです。

本専攻では、両大学の緊密な連携のもとで、原則として英語で授業が行われます。学生はまず「文化越境」研究の基礎理論を学んでから、「知識・信念・宗教 Knowledge, Belief and Religion」「社会・経済・統治 Society, Economy and Governance」「視覚・メディア・物質文化 Visual, Media and Material Culture」の 3 分野のうち 1 つを選んでから、両大学の教員による共同指導を受けて英語で修士論文を作成します。本専攻のすべての学生は、京都大学・ハイデルベルク大学の二重学籍を得て、日本・ドイツに各 2 学期在学し、修了所要単位 30 単位のうち、京都大学で 15 単位以上、ハイデルベルク大学で 10 単位以上を修得します。

京都大学文学研究科とハイデルベルク大学がそれぞれの強みを活かし、アジアとヨーロッパにまたがる大学院教育を共同で行うことにより、人文社会系の横断的研究能力と外国語による発信能力を兼ね備え、グローバルな知の場で活躍できる人材の育成をめざします。

京都大学で出願手続きを行う者（平成 30 年 4 月入学）の修士課程学生募集要項は、平成 29 年 10 月初旬から配布します。

この国際連携専攻は、日独 6 大学学長会議 HeKKSaGOn の発起メンバーである京都大学とハイデルベルク大学との国際的な研究・教育協力の結実であり、今後も継続して取り組んでいく事業です。

プログラム概要（以下、京都大学で出願手続きを行う者を例として記します。）

専攻名称：京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻

入学定員：10 名（うち京都大学に出願し入学手続きを行う者 5 名）

出願資格：京都大学大学院文学研究科修士課程の通常の出願資格に加えて、人文社会系の学士号を有する者、または平成 30 年 3 月までに取得見込であることを求めます。

修業年限：2 年（京都大学に 2 セメスター（1 年次第 1 学期、2 年次第 2 学期）、ハイデルベルク大学に 2 セメスター（1 年次第 2 学期、2 年次第 1 学

期) 在学します。)

学 位 : 修士 (文学)

選抜試験実施方法 : 本研究科の文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学各専攻のいずれかの専修に出願・受験して第二次試験に合格した者であり、かつ国際連携文化越境専攻志望の必要書類〔英文願書・英語能力証明書 (TOEFL iBT90 以上、IELTS6.5 以上) ・英文志望理由書など〕を提出していた者の中から、両大学合同での書類選考を行います。

入学金・授業料 : 京都大学のみに入学金・授業料を納入します。

そ の 他 : ドイツ到着までに、ドイツ語のごく初歩的な知識を学んでおく必要があります。ドイツ語未履修者には、ドイツ渡航前に基本的な日常会話の学習の機会を提供します。